

## 4日 土曜

ヨハネ

1:29 その翌日、ヨハネは自分の方にイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」

1:30 『私の後に一人の人が来られます。その方は私にまさる方です。私より先におられたからです』と私が言ったのは、この方のことです。

1:31 私自身もこの方を知りませんでした。しかし、私が来て水でバプテスマを授けているのは、この方がイスラエルに明らかにされるためです。」

1:32 そして、ヨハネはこのように証しした。「御霊が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを私は見ました。」

1:33 私自身もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けるようにと私を遣わした方が、私に言われました。『御霊がある人の上に降って、その上にとどまるのをあなたが見たら、その人こそ、聖霊によってバプテスマを授ける者である。』

1:34 私はそれを見ました。それで、この方が神の子であると証しをしているのです。」

1:35 その翌日、ヨハネは再び二人の弟子とともに立っていた。

1:36 そしてイエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の子羊」と言った。

1:37 二人の弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。

1:38 イエスは振り向いて、彼らがついて来るのを見て言われた。「あなたがたは何を求めているのですか。」彼らは言った。「ラビ（訳すと、先生）、どこにお泊まりですか。」



1:39 イエスは彼らに言われた。「来なさい。そうすれば分かります。」そこで、彼らについて行って、イエスが泊まっておられるところを見た。そしてその日、イエスのもとにとどまった。時はおよそ第十の時であった。

1:40 ヨハネから聞いてイエスについて行った二人のうちの一人は、シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。

1:41 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、「私たちはメシア（訳すと、キリスト）に会った」と言った。

1:42 彼はシモンをイエスのもとに連れて来た。イエスはシモンを見つめて言われた。「あなたはヨハネの子シモンです。あなたはケファ（言い換えれば、ペテロ）と呼ばれます。」

ヨハネはイエス様が誰であるかを知っていました。「世の罪を取り除く神の小羊」とは、ユダヤ教の贖いの羊が念頭にあります。その羊は雛形にしか過ぎず、イエス様を指し示すためであったと正しい理解をしていたことが分ります。

また「聖霊によってバプテスマを授ける者」というのも、イエス様の中心的な役割を理解していることが分ります。罪赦されたクリスチャンは、聖霊に満たされる必要があるからです。

イエス様と日々、親しく交わりましょう。そして罪赦されたことを感謝しつつ、イエス様によって聖霊に満たされ続けましょう。もしもまだ聖霊のバプテスマを体験していないなら、それを主に求めましょう。

また弟子たちはイエス様を出会ってすぐに、親しい人にイエス様を紹介しました。私たちも親しい人に紹介しましょう。まだであるなら、近いうちにそれができるように求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

